

会 議 録				
平成 18 年度第 1 回 社会教育委員の会議	日 時	平成 18 年 4 月 24 日 (月) 午後 2 時 00 分～4 時 00 分	場 所	小金井市役所第二庁舎 8 0 1 会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出席者	委員 その他 事務局	福島議長、彦坂副議長、井土、柿崎、兼森、君塚、堀井、田中、武田各委員 (欠席) 藤川委員 石川教育部次長、伊藤生涯学習課長補佐、中嶋公民館長、古屋図書館長、 林体育課長、 木村生涯学習係主事、宇佐見非常勤嘱託職員		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可		傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 教育長挨拶 (2) 平成 1 8 年度担当紹介 (3) 都市社連協定期総会・研修会報告 (4) 平成 1 8 年度社会教育関係団体の登録について (5) 社会教育主事の任命等について (6) その他 2. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 教育委員との懇談会について (2) その他 				
1. 報告事項 <p>(1) 教育長挨拶</p> <p>最近子どもたちを取り巻く好ましくない状況がいたるところで発生し、私どもも日々頭を悩ませているところです。そのような状況の中、地域全体で子どもたちを見守り育てていくことがいっそう必要であります。また子どもたちだけの問題でなく、地域社会全体の問題だと思しますので、いかに社会全体で生涯学習を進めて行くかということが何よりも子どもたちの安全につながることを思います。</p> <p>そうした中で小金井市では地域子ども教室、土曜スポーツクラブ、図書館における 6 日制、PTAにおける家庭学級等、生涯学習の進行に努めております。今年度より公民館、体育館での予約システムの導入を図り、より活用して頂けるようなハード面での充実をしているところです。また図書館では夜間開館を実現し、公民館の青年学級では多くの方が参加して事業を行っています。</p>				

今後とも、こうした取組みをいっそう充実して、生涯学習、社会教育の進展に努めていきたいと思っておりますので、どうぞ皆様方のご協力をお願い致します。

(2) 平成18年度担当紹介

(伊藤生涯学習課長補佐)

生涯学習課職員異動

- ・中川教育部次長の退職に伴い、後任者に石川教育部次長が着任しました。
- ・吉池体育課長の退職に伴い、後任者に林体育課長が着任しました。
- ・若林生涯学習係主任の異動に伴い、木村生涯学習係主事が着任しました。

(3) 都市社連協定期総会・研修会報告

[参加委員から、防災を中心にしたコミュニティからの社会教育、狛江の事例に対する感想などが報告された]

(4) 平成18年度社会教育関係団体の登録について

(伊藤生涯学習課長補佐)

平成18年4月24日締めで初期登録は79団体。昨年の78団体とほぼ同様です。新規登録は6団体です。

(5) 社会教育主事の任命等について

(中嶋公民館長)

社会教育主事については、社会教育法第9条の2第1項により、市町村教育委員会事務局に配置となっております。また、同法第9条の3により「社会教育主事は社会教育を行う者に専門的、技術的な助言と指導を与える。但し命令及び監督をしてはならない」との規定による職務を行うとあります。

平成18年4月1日付け人事異動に伴い、公民館事業係兼社会教育主事である「中尾喜久」が市長部局に出向となったので、3月31日付けで解任致しました。後任として「渡辺陽一」を4月1日付けで公民館事業係兼社会教育主事に任命し、辞令交付を致しました。

なお、過日、第4回教育委員会定例会において、同任命及び解任に関する代理処理を審議して頂き、原案どおり承認されております。

(6) その他

① 公会堂について

(伊藤生涯学習課長補佐)

公会堂取壊しに伴い、前原暫定会議室を本庁舎の向側(萌え木会館の隣)に建設中で、5月1日から使用可能の予定です。

② 平成18年度第1回福祉会館祭りについて

(中嶋公民館長)

福祉会館まつりが4月22日(土)～23日(日)に福祉会館で公民館本館等実行委員会により行われました。5月19日(金)～21日(日)は貫井南センター。5月27日(土)～28日(日)は本町分館。6月2日(金)～4日(日)は緑センター。7月7日(金)～9日(日)は東センターでまつりを予定しています。

③ 地域子ども教室について

(伊藤生涯学習課長補佐)

文科省予算による地域子ども教室事業は今年度限りですが、生涯学習課としては事業の継続を希望しています。

2. 協議事項

(1) 教育委員との懇談会について

(伊藤生涯学習課長補佐)

5月9日を目途に協議しておりましたが、懇談会へ提出する資料や協議事項について詳細な話を詰めてから申し入れた方が結果的に良いと思われまますので、6月の教育委員会を目途にさせて頂きたい。つきましては提出する資料と懇談する議題を詰めて頂きたい。

[提出資料及びテーマについて社会教育委員で討議された]

- ・教育委員会との懇談会は意見交流である。
- ・小金井の教育を考える上で、お互い課題を認識し合うことに意味がある。
- ・地域教育力で活用すべき教育資源として、はけの森美術館についても意見交流することは可能である。

(福島議長)

- ・現在、社会教育委員が検討していることとして「学校5日制に伴う居場所提供事業の課題」(前中川次長作成)を資料として提出します。
- ・はけの森美術館、地域総合型スポーツ、子どもの登下校の安全などもテーマとしたい。

(2) その他

(ア) 平成18年度関東甲信越静社会教育研究大会について

- ・代表として参加する委員3名に交通費、宿泊費が支給されます。
- ・分科会は「豊かな経験を有効に生かし、地域で支える家庭教育への支援体制づくり」です。
- ・代表参加は新しい社会教育委員4名の方の中からお願いしたい。彦坂副議長のほか2名の方は、6月23日が最終締め切りのため、次回、5月22日の会議までに申込みをお願いします。
- ・代表参加に欠員が生じた場合は井土委員にお願いします。

(イ) 社会教育委員の会議の開催時刻について

従来通り、午後2時から4時までとする。

(ウ) 前回の課題である、管外研修場所について

[管外研修場所を決めるに当たり、選定条件などにつき討議された]

- ・児童館に来る中高校生は少ない。居場所の点から考えると、学校と連携して進めたほうが良いと思うが、多忙な教師の現状がある。都のプラットホーム構想の指定地域でも良い、学校と地域の人材資源をどのように活用しているかを調べたい。
 - ・部活動に関し、中学校は外部指導員に頼りきっている。予算上も厳しい。しかし、土日に部活動をすることは学校の求めていることとは少し違う。部活は通常の曜日に行い、その延長上に土日がある。
 - ・社会教育委員の考えた方向とマッチさせ、コーディネートしてうまく動かすには非常に難しいものがある。
 - ・まずは学校の状況があって、何ができるのか中学校長会で問うてみます。
 - ・手作り工作教室に小学生の高学年も多かった。実施する際には、小学生高学年や中学生も呼べる中身を考えて欲しい。
 - ・東小学校ではボランティアを募集して登録を進めている。結局は、各学校で行っている“草の根”的な人材活用の仕方がうまく行くのではないか。
一方、市で行っている教育相談などは大学と連携する申請のシステムができており有用である。
 - ・市では大きな事業実施をし、申請のシステムがはっきりしていれば、学校は違う連携ができる。即ち、草の根の人材活用と両面が必要ではないか。
 - ・総合的な学習に対し、協力したいと思う人は多い。実施するプログラムを作ることは良いのだが、学校の現状を考えていない。学校の現状を出して頂いて、更に、学校の負担にならないで市民が協力する方策はないか。
- [武蔵野市や三鷹市などの情報収集をし、管外研修先を決めたほうがよいとの意見が出た]
- ・東小学校以外の情報も伝えたい。5月18日の校長研修会を経て、7月24日の社会教育委員の会議でお知らせします。

以 上